

2026年2月12日

各位

会社名 株式会社トレードワークス
代表者名 代表取締役社長 齋藤 正勝
(コード:3997 東証スタンダード)

業績予想公表にあたっての経営メッセージ

当社は、ネット証券はじめ証券業界向け IT ソリューションを主軸に、「品質と安定性」及び「変化への適応力」の両立を重視した経営を進めてまいりました。

近年、証券業界を取り巻く環境は、デジタル化の進展、業務の高度化、規制対応の複雑化、金融サービスのグローバル化、ならびに 24 時間 365 日化の加速により、システムインフラに求められる役割そのものが大きく変化しています。

当社はこれらを一過性の変化ではなく、中長期的な構造変化として捉え、継続的に対応していく必要があると考えています。

このような環境下、当社は本年度の業績予想において、収益性の改善を伴う成長を重視し、事業の質を高めながら安定的な利益創出力の強化に取り組んでまいります。

特に、売上総利益率および営業利益率の改善を重要な経営指標として位置付け、付加価値の高い案件運営と生産性向上を通じた収益力の強化を推進いたします。

現行中期経営計画の最終年度となる本年度は、これまで培ってきた証券 IT 分野での知見を基盤としつつ、AI 等自動化技術の活用による開発・運用の高度化を通じて、付加価値生産性の向上と収益力の強化を推進いたします。

具体的には、開発標準化及び運用高度化や品質管理の強化、テスト工程の効率化等により、品質と安定性を維持しながら、より短いリードタイムで価値を提供できる体制を構築してまいります。

また、当社は海外展開について、段階的に実績を積み上げる方針のもと推進しており、本年度は米 Alpaca 社との業務提携を通じ、今夏頃を目途に海外現地法人へのシステム提供に向けた準備を進めております。

これにより、当社が培ってきた証券 IT の知見を、グローバルに通用する API・プラットフォームと接続し、国際市場においても再現性のある形で展開するための基盤づくりを進めてまいります。

さらに国内においては、東海東京ホールディングス株式会社との資本業務提携を通じ、大手総合証券ならびに同社グループの顧客基盤に対し、業務効率化・サービス高度化を支える DX を推進してまいります。

本資本業務提携は、当社の証券 IT 基盤および運用ノウハウが、国内証券業界における中核インフラとして評価されたものと認識しており、今後の事業展開における信頼性向上にも寄与するものと考えております。

本提携を通じて、同社グループにおける具体的な案件創出と展開を推進してまいります。

加えて、当社は持続的な成長を支える基盤として、ガバナンス体制のさらなる高度化が重要であると認識しています。

本年度中に公表する予定の次期中期経営計画の期間において、プライム市場への移行および指名委員会等設置会社への移行を含めた要件整理と体制整備の検討を進め、経営の透明性と意思決定の質の向上を図ってまいります。

本年度は、次期中期経営計画に繋げ「将来にわたり信頼され続ける企業であるための準備期間」と位置付けています。

本年度業績予想の達成に向け、利益率改善を軸に着実な実行を積み重ねてまいります。

代表取締役社長 齋藤 正勝